

日本エム・イー学会平成14年度第4回理事会議事録

日時：平成15年1月10日（金） 14：00～16：00

会場：学士会分館

<出席者>

会長：上野照剛

副会長：赤澤堅造、安藤謙二

理事：石原 謙、荻野和郎、北島 颯、楠岡英雄、砂川賢二、辻岡克彦、仁田新一、山越健一

大会長：千原國宏（17回秋季大会）

特別委員長：梶谷文彦（ME研究推進）

支部長：米澤義道（甲信越）、飛松省三（九州）

幹事：伊良皆啓治

事務局：高柳 建

<欠席者>

理事：稲田 紘、神谷 瞭、佐藤正明、土肥健純、福井康裕、星宮 望、山本克之

監事：千田彰一、戸川達男

支部長：佐々木和男（北陸）、寺本 滋（中国・四国）、山内一信（東海）

幹事：岩坂正和

1. 理事会成立が確認された。
2. 平成14年度第3回理事会議事録（14-4-3）が承認された。
3. 会員：入退会希望者リストが回覧され、これらについて全件を承認した。この結果、正会員31名減で2,742名、準会員7名増で248名となった。維持会員の数は変化ないが5口減で32社48口である。
4. 市川鴻一先生、和賀井敏夫先生、石井威望先生の顧問退会について議論されたが、和賀井敏夫先生、石井威望先生はME学会の発展に貢献されてきた先生なので、名誉委員への推薦を次回の理事会で提案することが了承された。また、市川鴻一先生に関しては、業績等を調査して、再検討されることが了承された。
5. 第17回日本エム・イー学会秋季大会大会長の千原先生より準備状況が報告された。第17回日本エム・イー学会秋季大会は、IEEE Asia-Pasificと共催で、2003年10月20日（月）～22日（水）けいはんなプラザ住友ホールで開催される。また、同時開催企画として、ポーランドー日本、大阪ー上海の2つのジョイントミーティングが開催される。一般演題の締め切りが6月20日、原稿締切が7月末となる予定である。等が報告された。
6. 規約：楠岡理事より、理事会出席旅費支払い規程、電子メールを利用した関連他学会開催案内等の協力に関する取り扱い基準、社団法人日本エム・イー学会における基本財産の運用益の用途に関する規定、社団法人日本エム・イー学会における論文賞基金に関する規定、社団法人日本エム・イー学会における坂本賞基金に関する規定、社団法人日本エム・イー学会における荻野賞基金に関する規定が提案され、承認された。（14-4-5）
7. 山越理事より、学会名称変更に関する提案がなされた。1995年神谷瞭会長の時代に、学会名変更の議論がなされ、評議員へのアンケート結果からも学会名を変更した方がよいということになったが、結局、ふさわしい名称が当時見つからず、学会名変更は立ち消えになっていた。昨年、論文誌の名称も「生体医工学」に変わり、再び学会名の変更の機運が高まってきたので、学会名変更を検討してはいかかと提案がなされ、今後検討していくことが了承された。（14-4-6）
8. 選挙管理：選挙管理委員会砂川委員長より、平成15・16年度理事・監事候補者としてM系9名、E系11名の推薦結果が報告され、承認された。（14-4-7）
9. 財務：荻野理事より、平成14年度会計中間報告、平成15年度収支予算案が報告され、これらは次回理事会で承認することが了承された。この中で、平成14年度財務改善諸政策により、平成14年度中間報告では197万円、平成15年度では、約760万円軽減されることが報告された。また、論文賞・坂本賞の賞金辞退を佐藤前会長が申し出ているが、いったん受領した上で改めて学会に対して寄付していただくことをお願いすることが了承された。
10. 学術担当理事（辻岡庶務担当理事代）より専門別研究会規定適用、および補助金支払いに関して、研究会規程を平成15年度は猶予期間とし、平成16年度より完全な形で適用する。なお、研究会を1回開催したときの補助金費用基準額を25,000円とし、平成15年度より、開催予定として提出された回数分を、10万円を上限として支払うということが、専門別研究会協議会で了承されたことが報告された。また、今後の専門別研究会あり方として、長期にわたって活動していく研究会と、2～3年の短期で集中的に行う研究会の両者を並存していく形が望ましいとされた。（14-4-9）
11. 北島第42回日本エム・イー学会大会大会長より、第42回大会（札幌、2003年6月3日～5日）の準備状

況が報告された。招待講演 1 件、特別講演 2 件、大会長講演のほか、5 つのシンポジウム、18 のオーガナイズドセッション等が予定されており、一般演題の締切は 1 月 30 日であること等が報告された。

12. 第 43 回日本エム・イー学会大会大会長の山越理事より大会準備状況が報告された。副大会長をはじめ各委員会委員長が決まり、メインテーマとして「医工学連携豊かな長寿社会に向けて」を掲げることが報告された。
13. 上野会長より、2003 年 1 月 20 日に開催される日本学術会議医用生体工学専門委員会主催による ME フォーラム 2003 「未来医療を拓く医工連携」の案内がなされた。
14. 辻岡理事より、IMFBE のアジア・太平洋会議の 2005 年の開催場所として日本が立候補することが提案され、了承された。
15. 赤沢副会長より、2003 年 9 月に開催される生体医工学シンポジウムの主催を、発表演題の中の特許の問題により、日本エム・イー学会関西支部でなく、学術登録団体である日本エム・イー学会としてほしいと提案があったが、支部主催でも、特に特許に関しては問題はないとなった。
16. その他：
エム・イー学会の今後のあり方について、出席者より自由な意見が述べられた。他学会との合併を考えたり協力関係をもっと密にすることにより、エム・イー学会を発展させ、若手に魅力ある学会にすることの必要性があること等の発言があった。

(配布資料)

平成 14 年度第 4 回理事会議題

- 14-4-2-① 平成 14 年度第 3 回理事会入退会審査対象者
- 14-4-2-② 顧問退会希望者
- 14-4-3 平成 14 年度第 2 回理事会議事録 (案)
- 14-4-4-① 社団法人日本エム・イー学会・大会予定
- 14-4-4-② 第 17 回日本 ME 学会秋季大会企画概要
- 14-4-5 社団法人日本エム・イー学会理事会出席旅費支払規程 (案)
電子メールを利用した関連他学会開催案内等の協力に関する取り扱い基準
社団法人日本エム・イー学会における基本財産の運用益の用途に関する規定
社団法人日本エム・イー学会における論文賞基金に関する規定
社団法人日本エム・イー学会における坂本賞基金に関する規定
社団法人日本エム・イー学会における荻野賞基金に関する規定
- 14-4-6 学会名称変更アンケートに関する資料
- 14-4-7 平成 15・16 年度理事・監事候補者推薦結果
- 14-4-8 社団法人日本エム・イー学会 平成 14 年度会計中間報告
- 14-4-9 日本エム・イー学会平成 14 年度専門別研究会協議会議事録
- 14-4-10 第 16 回日本エム・イー学会秋季大会報告

追加資料 1 ME フォーラム 2003 「未来医療を拓く医工連携」
追加資料 2 バイオイメージングとナノテクノロジー